一般社団法人
サン・ビレッジ

放課後等デイサービス　エール
支援プログラム　5領域のつながり

作成日　2025年
1月31日

営業時間：　12時30分から18時30分　　送迎の有無：（あり）・　なし

支援理念

発達の過程や特性等に応じた発達上のニーズ、適応行動の状況や特に配慮が必要な事項等を丁寧に把握し、合理的な配慮を提供する。
利用するすべてのこどもをありのままに受け止めて、こどもが自分らしく過ごせる場であるという安全・安心の土台の上で、総合的な支援を提供する。
こどものライフステージに沿って、関係者が連携を図り、切れ目のない支援を提供する体制を構築する。

健康状態

＜健康・生活＞
安心できる居場所

〇基本的スキルの習得
〇ADLスキルの獲得
〇時間と空間の構造化
〇マナーの習得
〇見通しを持った生活
〇持ち物の管理

☆健康観察・検温・消毒
☆あいさつの励行
☆サイン・学習・活動の習慣化
☆荷物の整理整頓
☆安全な道具の使い方・借り方・返し方
☆季節感のあるクッキング・壁面掲示作り

支援方針

〇本人支援の５領域（「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」）の視点等を踏まえたアセスメントを行う。
〇５領域の視点を網羅した支援（総合的な支援）を行うことに加え、専門性に基づきアセスメントを行い、５領域のうち、特定（又は複数）の領域に重点を置いた支援を計画的及び個別・集中的に行う。
〇こどもや家族の意向を受け止め、こどもと家族の安定した関係に配慮して、こどもの暮らしや育ちを支える。
〇こどもの育ちや家庭の生活の支援に関わる地域の関連機関との連携のため、「移行支援」「地域支援・地域連携」を行う。

職員の質の向上

〇研修計画の策定と実施及び機会の確保
〇発達特性に応じた適切な支援のための研修の実施
〇対応が難しいこどもや家族等、個別ケースへの支援の質向上の研修の実施

心身機能 身体構造

＜運動・感覚＞
身体の上手な使い方を身につける

〇感覚統合を促す粗大運動や微細運動
〇力加減や道具の扱い等の協調運動
〇手先の器用さ等協応動作
〇学習時の姿勢の保持

☆手先を使った活動（けん玉・お手玉・豆つかみなど）
☆用具を使った運動（なわとび・フラフープ・トランポリン）
☆制作活動（レゴ・ダンボール工作・プラ板など）
☆外遊び・公園遊び

活動

＜認知・行動＞
適切な判断と行動の習得

〇認知行動療法　〇空間認知
〇言語や物の概念形成
〇見る力、聴く力、想像力、記憶力
〇スケジュールによる活動の見通し

☆コグニティブトレーニング（コグトレ）
☆ビジョントレーニング
☆数の概念の獲得
☆ゲームを通してのルール認識への支援

＜言語・コミュニケーション＞
円滑なコミュニケーションスキルの獲得

〇共同注意の獲得　〇意思の伝達
〇状況に応じたやりとり　〇自分を表現する
〇個に応じたコミュニケーション方法
〇特性に応じた読み書き能力の向上

☆個に応じた読み書きの支援
☆絵カード・ホワイトボードを活用したルールなどの視覚化
☆壁面掲示での自己の言語表出
☆適切行動への対応の支援
☆コミュニケーションスキルの向上

参加

＜人間関係・社会性＞
良好な人間関係づくりと社会生活に必要なスキルの獲得

〇SST（順番、役割、ルール、約束等）
〇感情のコントロール　〇情動調整
〇仲間づくりや集団参加　〇相互理解と共感
〇勝ち負けを受け入れる

☆年齢に応じたSST
☆共同遊びを通した気持ちや情動の調整の支援
☆自立生活の促進（自分のことは自分でやる、自己決定力の育成、体験活動への参加など）
☆折々の集会を通しての自己の役割の確認と協調性の育成

個性の尊重

・人権への配慮～
　人格と意見の尊重
・環境の整備～
　興味関心の拡がりと
　選択の保障

移行支援

・在籍校や園との連携
・ライフステージの切り替えを見据えた移行先との連携

家族支援

・家族からの相談に対する助言
・障害の特性に配慮した家庭環境の整備

地域支援・連携

・地域の関係機関との連携

個人因子

環境因子